

## 岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 西垣 幸司

学校住所 可児市中恵土2358-1 電話 0574-62-1185

- 1 会議の名称 平成30年度可児工業高等学校 学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成 委員 大杉 守平 可児市中恵土自治連合会長  
亀谷 実記 元PTA役員  
河村 共久 可児市下恵土自治連合会長  
佐合 英巳 元PTA役員  
若尾 真理 可児市立図書館長  
(委員名 五十音順)  
学校 西垣 幸司 校長  
各務 友浩 教頭  
長尾 久志 事務長  
水野 茂之 教諭 (教務主任)  
柴田 純孝 教諭 (生徒指導部長)  
加藤 正康 教諭 (特活部長)  
玉置 輝久 教諭 (進路指導部長)  
安藤 達矢 教諭 (工業部長)
- 3 会議の目的 岐阜県立可児工業高等学校の教育方針・重点及び学校課題を説明し、幅広い意見・提言を受け本校教育の改善・充実に資するとともに、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年6月28日(木) 10:00~12:00 可児工業高等学校 校長室  
委員5名、学校側8名、計13名が出席
- 5 会議の概要
  - (1) 校長あいさつ・委嘱書交付
  - (2) 出席者紹介
  - (3) 教頭より  
設置根拠を基に学校評議員の運営について説明し、本校マニフェストの概略を説明。
  - (4) 授業参観  
参観授業：普通教室授業→機械科1年工業基礎→化学技術科実習室→建設工学科実習室→電気システム科実習室の順に授業を参加。

## (5) 学校の現況と課題の説明

教 務 部：チャレンジタイムを実施し基礎学力の定着と、落ち着いた中で学習に取り組ませることを目標に実施している。今後、地域・保護者などに対して工業高校の良さを知ってもらうようにより一層情報発信をしていきたい。

昨年度から学習習慣をつけさせる取り組みをしている。普通に家庭学習などがあたりまえにできるように習慣化させたい。

これからの行事予定として、インターンシップをはじめ、地域の行事に参加することや、体育大会、文化祭をはじめとして行事があります。また、12月にはオーストラリアのクィーンズランド州の高校が来日し姉妹高校の交流をする機会が予定されている。

生徒指導部：本校の卒業後の進路は、7割を超える生徒が就職をすることから、社会に出てつまずかず、しあわせな生活ができること願って指導している。

生徒の中には発達障害を持つ生徒もいるので、スクールカウンセラーを活用しながら指導に当たっている。遅刻については、去年は少し増えてしまったが、学校全体の皆勤者は非常に多い。問題行動は減少しているが、ネットトラブルに関することが発生しているので、全校朝会等で情報モラル指導をしていきたい。昨年に比べ交通事故件数が増えているが、幸いに命に係わる事故はなかったものの、自転車運転等の指導をしていきたい。

いじめについて、教員間での情報交換を定期的実施し未然防止や適切な指導をしている。MSリーダーズ活動について毎朝剣道部の生徒があいさつ運動、清掃活動をしている。意識の高い生徒の行動を他の生徒に広め、そして規範意識の向上を進め行きたい。

特 活 部：生徒会活動は、生徒のリーダー育成を考えて活動しているが、生徒が主体となって行動することが難しい状態である。MSリーダー活動は、有志、部活動、委員会を中心に120人規模で清掃活動をした。可児工祭では、PTAにバザーをしてもらっている。生徒の実行委員会を組織し運営している。部活動の運動系、文科系ともに活発に活動し結果を出している。

進路指導部：生徒には、卒業生と語る会、会社会見学、インターンシップなどを実施している。保護者には、PTA学校見学会、企業見学会を実施している。

29年度の進路状況は、75%が就職している。その中で、60%が地元就職をしている。求人倍率は、過去最高の10倍でした。

進学については、ほとんどが指定校推薦とAO入試で合格している。

工業部：地域に根差した工業高校、地域の発展に貢献できる工業高校を目指して指導している。企業で求められているコミュニケーション能力の育成については、地域・企業と色々な連携事業を企画して実施している。ものづくりコンテストの東海大会には、3学科が出場する。マイコンカーラリーは、全国大会2連覇している。

#### (6) 協議

##### ○授業参観の感想

- ・施設管理がしっかりされていて、とてもきれいでびっくりした。
- ・生徒・教員ともに、いい表情で授業をされていた。
- ・授業参加をさせてもらったとき、あまり生徒が慣れていないのか生徒が振り向いて見てくれた。たくさんの方に授業を開放して見てもらう機会を増やしてはどうか。
- ・PTAであまり授業を見ていないので、他の保護者の方に授業を見てもらいたい。
- ・可児工祭でもバザーをしていて子供たちが何をしているか見たことがなかった。
- ・地元の高校であるので接することが多く、挨拶を元気よくしてくれる。また、MSリーダーの清掃活動も感謝している。実習や資格を取り、コンテストに参加するなどいろいろと取り組んでいくことが大切だと思う。
- ・地元で6割が就職してくれることは頼もしい。

##### ○テーマ① 「本校の教育活動について」

意見1：基本的には一生懸命やっておられることが第一印象です。生徒が、落ち着いており、会話も・行動も高校生らしく気持ちがいい。交通ルールも守っている。良い教育がなされている。リーダーが育たないとのことだが、この良い雰囲気の中で、思い切った投げかけをすることができるチャンスだと思うので力を入れてもらいたい。

意見2：子供を工業高校に進学させるとき、荒れている工業高校のイメージがあっただけどまったく違う。子供は、可児工業高校をほどほどに部活動、学習、遊べて、楽しく学校生活ができる何もかもが普通にできる目的で選んだ。部活動が熱心に指導されている。いろいろな導きをしてもらえる学校である。今後もいろいろな導きをしてくれる学校であってほしい。

意見3：卒業した息子が、「技術の資格を取得するように」と会社で言われている。もっと高校で技術を勉強しておけばよかったと言っている。部活動よりも、ものづくりコンテストに、出場できるような技術を身に付けてあげて欲しい。

意見4：学科が決まってしまうと、本当は他の科の方がいいと思っただけでも変えられなく他の教育に触れることができない、生徒にとって自分に合う科を中学生で決めるのは大変ではないか高校生のうちに進路を決まったところで自分の本当に好きなことを見つけられればよいが、見つけられなかった子はいるだろう。自分で好き

なことを選べるチャンス、難しいかもしれないが与えることはできないだろうか。

意識5：女子が少数派で厳しい状態かもしれないですが、是非、多くの女子生徒が工業高校に入学してもらえるようPRして、入学後も指導をお願いした。学校紹介パンフレットに、女子生徒の写真がもっと載せるようにしてPRをしたらどうか。

## ○テーマ2 「本校に期待すること」

意見1：コミュニケーション能力は、男ばかりなのでとれるような場を作っていただければと思います。

意見2：新聞等を見ると、可児工業高校の記事が載っていると嬉しくなる。どうしても部活の成績を見てしまうのでどんどん活躍してほしい。

こどもが通っていなくても、情報が新聞・広報などに掲載されるようにどんどん頑張ってもらいたい。

意見3：高校に入学するとき中学生に対して、「工業高校に行ったらこんなことができるよ」、「こんな個性が発揮できるよ」というところをもっと、アピールして生徒を呼び寄せてください。

意見4：地元県内に就職してもらい、可児市に人材を残って欲しい。地道な努力が大切ではないでしょうか。

意見5：会社を大きくしてもらえる優秀な人材を、一人でも多く育成してもらうことを期待します。

## 6 校長よりお礼の言葉

本日は貴重な意見を聞くことができました。女性目線での取り組み、コミュニケーション能力などについて貴重な意見をいただきました、是非今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。本日はありがとうございました。